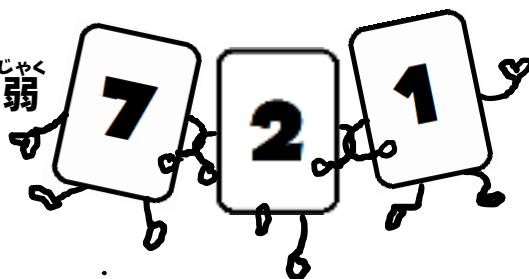


イエナカあそび

№8 「10 カップル」 たし算する神経衰弱



[準備物]

トランプの1から10までの40枚

[あそびかた]

① あらかじめトランプをよくきってウラをむけて場に広げる。(神経衰弱と同じ)

② 順番が回ってきたら1枚ずつめくる。

めくった数字が足してちょうど10になればそれを手札としてもらえる。

1 9 や 3 7 のように2枚じゃなくても 2 3 5 や 1 1 2 6 や 10 もOK。

10を超えないうちは何枚でもめくり続けられるので、めくりながら たし算をしていこう。

※戦略として、ちょうど10になるように取れないと思った場合は

途中でめくることを止めてターンを降りることもできる。

例)すでに1が4枚手札として回収されているとき、もう場には1が1枚もないことが確定。

この場合、4 5 をひいた時点でドボンになることが分かるため、

これ以上めくっても次の人へのヒントにしかない。

③ 10を超えた時点でドボン(おわり)。めくった札をウラにもどして次の人の番になる。

神経衰弱と同じく、成功すれば続けてもう1ターンすることができる。

どう組み合わせても取る札がなくなったらゲーム終了、最後にたくさんの手札をもっている人の勝ち。

たとえば 10 を4枚(4ターン)とった人よりも、1 1 2 2 4 を1ターンで5枚とった人の方が勝ち。

[おうちの方へ]

・神経衰弱だと記憶力勝負のためなかなか勝てない児童も、

こういったルールなら最後に勝利できるのではと考案しました。

・また、足し算が不得意だったのにゲームつづけるうちに楽しんで暗算できるようになった児童もありました。

・ルールは変更可能です。10を入れない、ジョーカーは何にでも変身できる、「絵札」はマイナス5、足して10ではなく15に変える・・・などなど。

学校の休み明けには たし算名人 になっているかも！